

# ともに生きる キャリア

## ハートネットTV

ルーツのバトンを受け継いで

～フォトジャーナリスト・安田菜津紀～

放送日：2022年2月1日 放送時間：29分



対象校種 小学校4～6年・中学校・高校・大学

対象教科 総合・社会

## この番組の良さ



### ● 人権差別問題に迫る

「世界平和度指数 (Global Peace Index)」(2023) 調査では、日本は9位という結果でした。日本は、世界の国々と比べると平和な国であると言えます。しかし、日本には、昔から多くの差別問題が存在し、その差別により生きることに苦しむ人々がいます。本番組では、フォトジャーナリストの安田さんが、日本で暮らす外国人への差別問題に焦点をあて、取材を続けて考えたことや思いを語っています。視聴を通して、差別のない社会のあり方について考えることができます。

### ● 誰もが公平に生きられる社会へ

現在、日本には人種、性別、宗教など、様々な背景や違いをもつ人々が暮らしています。しかし、日本人であっても部落差別が存在し、外国人労働者への待遇や生活保護等、支援が充実しているとは言えません。誰もが公平に生きられる日本社会を目指すべきです。視聴を通して、ヘイトスピーチや嫌がらせと向き合い、支え合いながら前向きに生きる人々の現状から、誰もが公平に生きられる社会について考えることができます。

## 番組活用のポイント

### ● SDGs「人や国の不平等をなくそう」の学習資料として

世界中の人々が、豊かで幸せに暮らす未来を目指して、国連サミット(2015)で「世界が目指す持続可能な17の開発目標(SDGs)」が決まりました。このSDGsに問題意識をもつ学校や企業等が増え、様々な項目での取り組みが行なわれています。本番組は、SDGsの目標の中の「10.人や国の不平等をなくそう」という項目において、活用することができます。先進国と途上国の社会の違いや、同じ国の中での貧富の差、人種、民族等、たくさんの不平等が存在していることを知り、解決に向けて協働で取り組み、差別を許さない態度を育む学習が期待されます。

### ● 自分らしく生きやすい社会を考える

安田さんは、幼少期、自分は日本人にルーツがあることを疑うことはなかったそうです。ある時、父が在日コリアンであることを知り、父がなぜ、娘である自分にルーツを伝えなかったのかという疑問をもちました。この疑問の手がかりを見つけるため、在日コリアンに関わる施設の取材を続けています。番組視聴によって、在日コリアンの人たちに対するヘイトスピーチや嫌がらせ等、現実には起きている社会問題を学ぶことができます。また、自分のルーツを大切に、様々な違いがあっても、自分らしく、幸せに生きていくことのできる社会について考える学習で活用することができます。

### ● 支援団体の取り組みの大切さ

現在、日本には、ジェンダーの問題や障がい者への人権問題等、立場や地域の違いに関わる差別が存在しています。番組では、川崎市が在日外国人たちの交流の場として作った施設が紹介されています。その施設で、おだやかに老後を過ごしている在日コリアンの高齢者に対しても、ヘイトスピーチが行われ、嫌がらせが続いていました。在日コリアンの高齢者たちが地域住民と協力して声をあげ、ヘイトスピーチに立ち向かう姿が印象的です。立場の弱い人や困っている人を支援することの大切さを学び、差別に立ち向かう姿勢を育む教材として活用することができます。



執筆者  
北海道石狩市立双葉小学校  
教諭 前多香織